

ご存知の様に電流はプラスからマイナスに流れて力を発揮はつきします。電池であればプラスの残量が無くなれば使用不可となります。人間様もマイナスの要因をプラスが補おぎなって活動しています。

マイナスを支え切れなくなった時、人生が終わるのだと私は思っています。空海大師は **生死には父母や妻子への恩愛が深く世間に執着していつまでも苦から抜け出せない。苦には生老病死・**

**憂悲・苦惱・愛別・怨憎等の八苦がある**」と言つて見えます。宮沢賢治の死生観は噴火湾、ククタ

ーのなかに 駒ヶ岳 駒ヶ岳 暗い金属の雲をかぶって立っている そのまっくらな雲のなかに とし子がかくされているかもしれない ああ何べん理智が教えても私のさびしさはなおらない私の感じない違った空間に いままでここにあった現象がうつる それはあんまりさびしいことだ **そのさびしいものを死というのだ**たとへそのちがった**きらびやかな空間**でとし子がしづかにわ

らおうとわたしのかなしみにいじけた感情はどうしてもどこかにかくされたとし子をおもう」

と、百三歳の美術家篠田桃紅女史は、死は必ずおとずれるものだから死について考えないと、良寛

禅師は死ぬるときに死ねば良いと言い、彼女は良寛禅師と同じような心の持ち主のように感じまし

た。今我々の生命を危惧きぐさせるのは大気おせんの汚染や海の汚れ、その原因の一つに原発の事故があげら

れます。一九八六年に起きたチェルノブイリ、平成二十三年の福島。福島では今でも放射能汚染水

が海に流出していますし、大気も汚し続けています。消すことのできない物質が目に見えない危険

が充満していくのです。避難したから良いと言う事ではありません。徐々に自分で自分の首を絞め

ていくことに変わりありません。自ら作り出した気苦労ならば辛抱もできますが他から与えられた

予期せぬ出来事には我慢にも限界があります。原発事故の収束も時機不明です。人間は生まれれば

死ぬわけですが招かざる事故・事件・テロ・戦等によって一命を閉じるのも運命うたなづひの悪戯あそびと思ひ諦

めれば済むのでしょうか。 **天は善行には幸せを授け、不善の行いに対しては禍わざはひを下す**」と言う

教えがあります。ただこの教えの禍が死を意味するのかどうかは解りません。私は死を招く定義が

あるのかどうかも分かりません。しかしながら死が与えられる定義があるはずで、何故ならばあ

の人がと言われる人でも死に、あんな人と言われるでも生きている不思議な事です。複雑怪奇、

凡夫ぼんぷの知りえる事では無いと言う事でしょうか。「このころは医も忍術と名義貸し」と言う川柳も

ありますが盲目に成る事無く、私も自己の責任に於いて常に身の処し方を考えねばと思ひます。前

にも御話し致しましたが人間の心には善も悪も住んでいると思ひます。 仏教では 佛ぶつ凡ほん同居どうじう

と言ひ、地獄と佛が同居していると論ろんしています。共同生活、助け合いの中で過すごしている我々です。

善なる結びつきで思い合い、結縁法楽の毎日を過すごしたいものです。銀行家故堀田庄三氏は **怒る**

**な・威張るな・焦るな・腐るな・負けるな**」で暮らそうと言われました。今月は先祖供養と我が身

の祈願法要を厳修致します。

七月一日

善壽界善入院油掛地藏尊